

北陸鉄道石川線の利用促進を考える市民の会 会報

令和5年3月



会長あいさつ

当会は、利用者自らが主体となって、石川線の必要性について考え行動するために発足されました。近年は様々な取り組みの成果により利用者の増加がみられていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通全般の利用者が減少し、石川線も非常に厳しい状況にあります。

石川線は生活の足として、コロナ禍による新しい生活様式においても地域になくてはならないものだと考えています。私たちの大切な生活の足を守るため、皆様とともに利用促進に向けて活動してまいりたいと思います。今後ご協力の程よろしく願いいたします。

北陸鉄道石川線の利用促進を考える市民の会
会長 垣坂 太佳盛

令和4年度活動報告

令和4年 6月20日 役員会（書面表決による開催通知発送・7月20日決議）
10月29日 市内3駅清掃活動実施
12月20日 初詣の運行に関するお知らせ発信（市公式LINE等）
令和5年 1月14日 押野保育園の園児による絵画等車内展示（3月5日まで）



石川線・浅野川線
利用促進キャラクター
「のるぞう」

活動風景

市内3駅（野々市工大前駅・野々市駅・押野駅）の清掃活動報告

実施日 令和4年10月29日（土）
参加者 沿線町内会 14名（本町二丁目、高橋町、本町一丁目、二花自治、丸木、押野）
金沢工業大学学友会 27名、北陸鉄道関係者 4名 計45名

町内会と工大生の皆さんは、市内3駅において、ホーム待合室の清掃、自転車の整理整頓、落ち葉収集などを行い、清掃後、工大生さんは乗車体験をかねて、鶴来駅まで乗車し、駅付近を散策しました。

押野保育園の園児による絵画等の車内展示

実施日 令和5年1月14日（土）から3月5日（日）まで
内容 北陸鉄道石川線車内において押野保育園の園児による絵画等（27点）の展示



清掃活動（押野駅）



車内展示の様子